

とぎつちよう うちどく すいしん
時津町は「家読」を推進しています

たまには テレビをけして

ていがくねん む はるごう
低学年向け 2025年 春号



「くいしんぼうのはなこさん」
いしい ももこ/ぶん なかたに ちよこ/絵
(福音館書店)

はなこさんは、とてもわがままなこうし。くいしんぼうでしたので、むくむく大きくなりました。ある日、山の牧場へつれていかれたはなこさん。そこにいた、たくさんのかうしたちのなかで、「ちゃんばら」をしてかちぬいて、なんと女王になっちゃいました！そんなある日、みんなの分のイモを全部たべてしまったはなこさんは、ふうせんのようにふくらんで…。さて、どうなるのでしょうか？

うちどく 家読とは

かぞく す ほん よ ほん
家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく (家読)」です。むずかしいルールは要りません。かぞく みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



「ねことことり」
たての ひろし/作 なかの 真実/絵 (世界文化社)

ある朝、森に住むねこのもとに、ことりがやって来ました。こえだをさがしていたことりは、ねこは一日一本ずつ、ぜんぶで7本のこえだを、分けてあげることにしました。ことりは、とてもすてきな歌声で歌いました。それはねこにとって、魔法のように世界が明るくなる歌声でした。でも、ことりが来なくなると、ねこの心はぽっかりとあながあいたように感じ…。



「やさしいは いきている」
藤田 智/監修 岩間 史朗/写真撮影
(ひさかたチャイルド)

みんなは、「やさいのきれはし」にちゅうもくしたことがありますか？ニンジンのあたま、キャベツのしん、ジャガイモのかけらなど、ふだんはゴミになっちゃうところを、水さいばいするとどうなるかな？大きなしゃしんで分かりやすいのがみりよくの本。小さなきれはしにやどる、大きなパワーに感動しますよ！



「なんでもふたつさん」
M.S.クラッチ/ぶん 光吉 夏弥/やく K.ビーゼ/え
(大日本図書)

なんでもふたつさんは、かうもの着るものなんでもふたつずつでないと気にいりませんでした。でも、残念なことに、おくさんと子どもは一人ずつしかいません。

ある日、なんでもふたつさんの子どものピーターが自分とそっくりな男の子に出会ったので、協力してもらって、お父さんのふたつずつのくせをやめさせようと考えました。



「のはらクラブのこどもたち」
たかどの ほうこ/作 (理論社)

のはらクラブはね、のはらのすきなおばさんが、子どもたちをあつめて、のはらをあるきながら、花や草のはなしをするクラブなんです。すずめのかたびら、からすのえんどう、ねこじやらしなどなど、みんなはどれくらい知っているかな？この本をよめば、草花のことにくわしくなりますよ！さいごまで読んだら、のはらクラブの子どもたちのヒミツもわかっちゃいます。



「いちねんせい」
谷川 俊太郎/詩 和田 誠/絵 (小学館)

いちねんせい
一年生になったばかりや、このあいだまで一年生だったお友だちにぴったりの詩の絵本。小学校や先生、お友だちについてよまれた詩がたくさん！谷川俊太郎さんのすてきな詩と和田 誠さんのいきいきとした絵に、一年生のわくわくした気持ちがあらわれています。ぜひ、声に出しながらよんでみてね♪

発行：とぎつちようりつとぎつとしょかん